

第3回小淵沢小学校運営協議会 会議記録

- 1 日 時 令和5年2月17日(金)
午前 14時 ~ 14時35分 授業参観
14時40分~15時40分 話し合い
- 2 会 場 小淵沢小学校 各教室(授業参観)
多目的ホール(話し合い)
- 3 参加者 委員8名(欠席2名 清水英治副会長、小俣昭陽教務主任)

4 協議項目・結果概要

(1) 話し合いより

- ・地域にいる人材を活用することはコミュニティ・スクールの役割であると考えている。北杜市には人材一覧表はあるが、大人向けのものが多い。情報は学校と共有して行きたい。
- ・小淵沢は馬の町。乗馬教室など、活用できると良い。
- ・ICTの利用については、児童のレベル差はあるのか。タブレットのハード面での管理はとても大変である。
- ・不登校やヤングケアラーの人数はどれくらいか。色々な家庭があることは認識している。
- ・地域の行事がなくなってきた今、地域でも見えない部分が多く出てきている。北杜市は住民倍増計画ではあるが、近所付き合いを嫌っている人もいる。
- ・65歳以上でも老人クラブへの加入はなく、まだまだ現役で頑張っている人が増えている。老人クラブの存続が危うい。
- ・スポーツ少年団の活動が土曜日日曜日にあり、子ども達は忙しい。地区の行事にも子ども達が集まらない。
- ・親の都合なのか、子どもの希望なのか、登下校で歩く子が少なくなっている。歩くことは、体力づくりにも絶好の時間である。
- ・通学路をしっかりと歩いて登下校してほしい。親の送りが多い。集団での登下校へは親も協力して子ども達を出してもらいたい。
- ・子どもつながりがあれば、親同士のコミュニケーションはできる。
- ・地区民会議との連携を今後も取っていきたい。

(2) 学校教育活動全般(児童や教職員、保護者の様子や、地域の活動等)について

- ・コロナウイルス感染が蔓延する中、行事の精選や見直しを行いながらも充実した学校教育を展開していると思える。教職員の多忙化解消のアクションにもつながったのではないかと。
- ・今後、コロナ前のように色々と欲張らずに教育活動を進めることが大事ではないか。多くの事を取り入れなくても、工夫次第で成果は得られると思う。
- ・コロナ禍での教育活動が制限されて北が、少しずつ従来の活動にもどりつつあるとのこと。
- ・地域・保護者との連携の項目には、まだまだできなかったことが多く、活動が制限されていて、今後の課題かもしれない。
- ・今年度もコロナ禍で数々の行事が縮小の中でしたが挙行され、児童、保護者にとっても思い出になったことでしょう。
- ・編笠山登山、運動会、音楽発表会等、来年度は盛大に行われることを願っています。
- ・予測ができないコロナの波の中、行事の予定を立てる事も大変だと思います。先生方のご努力に感謝しています。地域の活動はどれも世代間の交流ができる行事が実施されていません。地域住民のつながりが希薄になっていると思います。
- ・コロナ禍であっても、創意工夫しながら多くの活動をしている事に感謝します。八ヶ岳登山は当日にのみではなく、日常の体力づくりなど先生方のご苦勞に頭が下がります。

- ・北杜市長は今後10年間で子どもの数を倍にと明言していますが、移住者と地域に今まで住んでいた住民とでは、疑問はなくスムーズに生活できるといいと思います。世の中いろいろな考えや思想、育ってきた環境の違いがあり難しさや考えの狭さを考えさせられます。

(3) 保護者アンケートの結果について

- ・アンケート回収率が低くなっているが、物価上昇、日本の労働者の低賃金、一人親家庭など様々な課題を抱える中、学校教育に関心を持ってきている家庭がまだ80%もあると考えて良いと思う。とは言っても学校が思っている以上に苦労している家庭もあるのではないかと想像する。心に余裕を持って子どもに接している家庭の方が子どもは落ち着いている傾向があると考えられるので、100%の回答率になると肯定率は今回のアンケート結果よりも下がるかもしれないと考え、結果に安心せず、子ども達の様子を注意深く見守り、変化に気づいた時は早い対応をしたい。
- ・学校の信頼度が増加していて、よい傾向である。
- ・家庭学習の面は、家庭でのことであり保護者の目が届かないことがあると思うが、子ども達の意識は少しずつ変化してきていると思う。
- ・各項目で高い肯定率、親子関係は良好と受け止めています。家庭学習と早寝早起きの項目は時折保護者の方とおしゃべり中で、お子さん達の習い事で疲れて朝起きられないとの話を耳にしています。無理のないよう、健康管理をご家庭にお願いしたいです。
- ・アンケート結果を見ても、地域とのつながりがほぼ無い家庭が一定数ある事が分かります。必要性を感じないのかもしれませんが、子どものことで困った事がある時に誰に相談するのか、相談できる人がいるのかどうか気になりました。
- ・保護者の皆さんも忙しい中ですが、子どもの為に努力していることが分かります。何よりも朝食を100%の子どもが摂っていることに安心しました。朝食は全ての基ですね。
- ・朝ご飯を食べて登校しているの項目が100%であったことにはびっくり、嬉しい気持ちです。食生活推進委員の地区役員をしていますが、この数字を見て早速地区の役員さんに報告したいと思います。子ども食堂がどこにでも必要になってきているという話を聞きますが、小淵沢はすごいと思います。

(4) 児童アンケートの結果について

- ・とてもよいと回答している子は全体的に1学期の方が多いため、マンネリ感をなくせるようになれば良いが、とても難しい課題である。そのような中ですが授業が分かる、先生はがんばりを認めてくれているの項目は伸びているので、先生方の普段の努力がすごいのだろうと先生方に感謝です。
- ・授業や意見を言う、家で勉強をしているは80%以下であるが昔と変わらない。授業が楽しい、授業が分かるは先生方の努力の成果。
- ・学年を問わず、9割近くが学校が楽しいとの答えにほっとしています。授業中意見を言うの項目が低いのは、理解できていないからなのではないでしょうか。消極的で地域の人と挨拶をするの項目は少々気になります。
- ・授業が楽しいの肯定率が下がり、授業が分かるは肯定率が上がっています。楽しいと分かるは必ずしも比例しないのですね。家庭学習については、児童も保護者も厳しい自己評価です。理由は何でしょうか。忙しいとか遊んでしまうとか、理由を知りたいです。
- ・ほとんどの児童が楽しい学校生活を送っています。少数ではありますが、不安を持って学校生活を送っている児童に対してきめ細かい対応をお願いします。
- ・学校が楽しいとはとてもいいことであると思います。

(5) 教職員自己評価結果について

- ・校長先生を中心に協力し合って取り組んでいると思います。
- ・先生方のがんばりが評価に表れている。
- ・肯定率の低い項目（多忙化改善、地域素材や地域人材の活用、体力づくり）は、自ら

の意識で変えなければできない。それには仲間意識が必要である。

- ・日々の先生方の努力がグラフから受け止められます。先生方の健康維持の為にも多忙化改善に努力してください。少なからずいじめはあると認識していますが、小さなうちに解決するように取組をお願いします。
- ・保護者の価値観の多様化は昔からありましたが、現在の問題点はどこにあるのか。子どもが通いたい学校、保護者が通わせたい学校を合言葉に、頑張っていてほしい。
- ・仕事量が増えて労働時間は減らす事はかなり工夫が必要です。先生方が本来の仕事をする為に私達がどんな手助けをすればいいのか発信していただけると助かります。
- ・日々の努力本当にありがとうございます。課題を抱えた児童も多いと思いますが、自己肯定感を高められるよう、働き方改革と並行しながらこれからもよろしく願います。
- ・長時間の仕事お疲れ様です。いろんな考えの保護者に振り回されずにと願います。

(6) その他

- ・PTA活動、役員決め等、学校も保護者も大変だと思う。なくしてほしいと思う保護者も出てくるのではないかと。そのようになった時、どう対応するか、協力のあり方を考えていきたい。
- ・いたずらと思われる誘拐予告で一時緊張させられましたが、事故もなく通学路の見守りができてほっとしている。コロナ禍で地域でのイベントが中止になりましたが、児童の元気な姿で地域を盛り上げてほしいと願っています。
- ・コミュニティー・スクールが、絵に描いた餅にならないように、骨格づくりはしなければならぬと思っています。もう少し話し合いの機会を持ってほしいかもしれません。
- ・コロナの為、地域行事、市町の行事が少なくなり子ども達の声が学校外で聞かれなくなり寂しい気がします。今年度は町の文化祭を実施しましたが参加者は少なかったです。子どもの作品などあれば、もっと多数集まったのではと思います。でもまだ集まるのは怖いですね。

5 次回の予定

令和5年度 第1回学校運営協議会

日時：決定後、各委員の皆様へはご案内をさしあげます

内容：令和5年度小淵沢小学校経営方針の説明と承認 等

※来年度の学校運営協議会委員について引き続きお願いできるかどうか、個別にご連絡を差し上げます。